

行ってきました！飯富特別支援学校



6/7 「茨城県特別支援学校 PTA 連絡協議会」が飯富特別支援学校でありました。
県内の盲、聾、病弱、肢体、知的のすべての特別支援学校の集まりです。

まず小学部の合唱でのオープニング。うちはもう高等部なので、とにかくかわいいなあ
笑顔になりました。

次に講演です。「地域で生活するために必要なこと～今、家族がすべきこと～」

日本福祉大学 福祉経営学部 学部長・教授 綿 祐二 先生

これは是非とも、皆さんに聞いてもらいたいと思った内容でした。特に高等部の皆さんは必
聴でしたよ。この講演のレジユメは授業参観時に閲覧できるようにしておきます。関心のある
方はお手に取ってください。また、講師の先生を検索してもよいかと思います。

大学の先生としてというより、施設長（20歳の時に施設を立ち上げ、現在25施設を運
営してます。）と家族に障がい者のいる立場（両親、三人の兄姉全員障がい者！）からとて
も説得力のある、迫力のあるお話でした。卒業後の生活費のことを真剣に考えることや、子
離れについてを先延ばしにしている私は、真正面からバツサリとやられました。どのように
卒業後生きていくかを考えるには「日中生活」と「居住」と「後見」をどうするかというこ
とで、それぞれ具体的な視点を説明してくれました。18歳までは児童福祉法と特別支援教
育で甘やかされているのです。このことを心に銘じなければいけません。みなさん、「障害
支援区分」や「障害基礎年金」について知っていますか？または具体的に考えたり行動した
ことはありますか？17歳になる子を持つ親としては震えてしまいました。サービスを受
けられなければ、仕方ないのです。賢い親になりましょう。子どもが自力で生活するための
知恵を持ちましょう。「いつか」グループホームではなく、現実的に具体的に決めましょう。
準備して3年で出来るそうですよ。一人400万の出資ですが、大学に行かせると思えば教
育費はそれくらいかかりますよね。それから、思春期を過ぎた子どもを抱きしめたりチュウ
したりしているのは、異常な関係なのですって。（共依存といいます）皆さんは大丈夫です
か？

是非、先生伝授の勉強会をやってみたいなあと思った安河内でした。障害区分認定調査は
ダウンロードして、シュミレーションすることも出来ます。関心のある方は
<http://jjicare.jp/hanteitrial/>

さあ、明日は境特別支援学校に行ってきます♪